

## 【暖冷房負荷ファイルの内容】

平成 25 年 10 月に施行される住宅の省エネルギー基準では、住宅の躯体や設置される設備の性能を一次エネルギー消費量により評価することとなっています。ここに示す暖冷房負荷ファイルは、評価を支援するためのツール（算定用 WEB プログラム）において、暖房及び冷房の一次エネルギー消費量を計算する際に用いる暖冷房負荷データです。

### 暖冷房負荷ファイルの命名方法

各ファイルは以下の表記例に示すように、①～⑨の組合せで個別に名称をつけ、CSV ファイルで保存されています。

<ファイル表記例：HH1×\_11\_01\_212\_1SS\_FM.csv>

ファイル表記例：	①		②			③			④			⑤	⑥	⑦		⑧	⑨
	H	H	1	×		1	1		0	1		-	2	1	2	-	SS
内容	全て H	暖房なら H、冷房なら C	地域区分 下記参照		アンダースコア	運転モード（11・13、15・16。冷房は 11・12 のみ） 下記参照		アンダースコア	（02・11。冷房は 02・03・05・09 のみ） 下記参照	断熱水準・熱交換換気の有無	アンダースコア	日射遮蔽（1・3） 下記参照	通風設定（1・3・5。暖房は 1） 下記参照	全て 2	アンダースコア	熱容量付加（1・2） 下記参照	全て SS

## ファイル名における番号の意味（暖房）

番号	意味
②地域区分	1x = 1 地域
	2x = 2 地域
	3x = 3 地域
	4x = 4 地域
	5x = 5 地域
	6x = 6 地域
	7x = 7 地域
③運転モード	11=全館連続運転
	12=居室間歇運転
	13=居室連続運転
	15=LDK 居室連続運転、その他居室 居室間歇運転
	16=LDK 居室間歇運転、その他居室 居室連続運転
④断熱水準・熱交換換気の有無	02=断熱水準:昭和 55 年基準相当【 $Q_1$ 】
	03=断熱水準:平成 4 年基準相当【 $Q_2$ 】
	04=断熱水準:平成 4 年基準相当【 $Q_2$ 】、熱交換換気あり
	05=断熱水準:平成 11 年基準相当【 $Q_3$ 】
	07=断熱水準:平成 11 年基準相当【 $Q_3$ 】、熱交換換気あり
	09=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 $Q_4$ 】
	11=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 $Q_4$ 】、熱交換換気あり
⑤日射遮蔽	1=日射遮蔽レベル:小(参考仕様:開口部遮蔽なし)【 $\mu_{j,3}$ 】
	2=日射遮蔽レベル:中(参考仕様:開口部にレースカーテン)【 $\mu_{j,2}$ 】
	3=日射遮蔽レベル:大(参考仕様:開口部外側に外ブラインド)【 $\mu_{j,1}$ 】
⑥通風設定	1=通風無し
⑧熱容量付加	1=蓄熱なし【 $TS_0$ 】
	2=蓄熱あり【 $TS_1$ 】

※【 】内の記号は本文中における数式記号の添え字を表す。

## ファイル名における番号の意味（冷房）

番号	意味
②地域区分	1x = 1 地域
	2x = 2 地域
	3x = 3 地域
	4x = 4 地域
	5x = 5 地域
	6x = 6 地域
	7x = 7 地域
	8x = 8 地域
③運転モード	11=全館連続運転
	12=居室間歇運転
④断熱水準・熱交換換気の有無	02=断熱水準:昭和 55 年基準相当【 $Q_1$ 】
	03=断熱水準:平成 4 年基準相当【 $Q_2$ 】
	05=断熱水準:平成 11 年基準相当【 $Q_3$ 】
	09=断熱水準:平成 11 年基準超相当【 $Q_4$ 】
⑤日射遮蔽	1=日射遮蔽レベル:小(参考仕様:開口部遮蔽なし)【 $\mu_{j,3}$ 】
	2=日射遮蔽レベル:中(参考仕様:開口部にレースカーテン)【 $\mu_{j,2}$ 】
	3=日射遮蔽レベル:大(参考仕様:開口部外側に外ブラインド)【 $\mu_{j,1}$ 】
⑥通風設定	1=通風無し【 $NV_1$ 】
	3=通風あり:換気回数 5 回/h 相当（全館連続運転はなし）【 $NV_2$ 】
	5=通風あり:換気回数 20 回/h 相当（全館連続運転はなし）【 $NV_3$ 】
⑧熱容量付加	1=蓄熱なし

※【 】内の記号は本文中における数式記号の添え字を表す。

## ファイルの内容

ファイルの内容は以下のとおりです。

A(1 列) : 日付

B(2 列) : 時刻

C(3 列) : 平日と休日の別

D(4 列) : 外気温度 [°C]

E(5 列) : 絶対湿度 [g/kg']

以降は、各室で共通

F(6 列) : 暖冷房負荷のスケジュール (「ON」の場合に暖房運転または冷房運転)

G(7 列) : 顕熱負荷 [kJ/h] (マイナス表記は冷房負荷)

H(8 列) : 潜熱負荷 [kJ/h]

## 暖冷房負荷と暖冷房区画の対応関係

列番号	解説書における区画番号	暖冷房負荷ファイルにおけるヘッダー名称
6～8	5	和室
9～11	1	LD (※1)
12～14	1	台所 (※1)
15～17	6	浴室
18～20	7	1F 便所
21～23	8	洗面所
24～26	9	ホール (※2)
27～29	10	クローゼット
30～32	4	主寝室
33～35	2	子供室 1
36～38	3	子供室 2
39～41	9	2F ホール (※2)
42～44	ND	階間(L4) (※3)
45～47	11	2F 便所

※1 区画番号 1 の LD 及び台所は両列の暖冷房負荷を合計したものを区画番号 1 の暖冷房負荷とします。

※2 区画番号 9 のホール及び 2F ホールは両列の暖冷房負荷を合計したものを区画番号 9 の暖冷房負荷とします。

※3 暖冷房負荷ファイルにおける「階間(L4)」列は使用しません。